

メタルドゥ、明道メタルなど高機能金属展に出展

2015.04.10 15:12



いいね!

0

Tweet

0

8+1

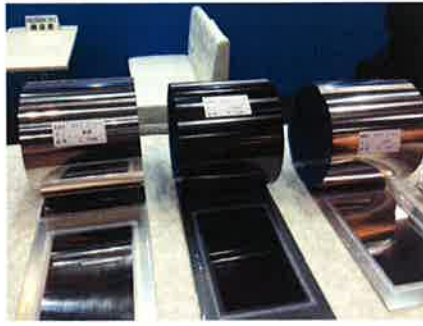
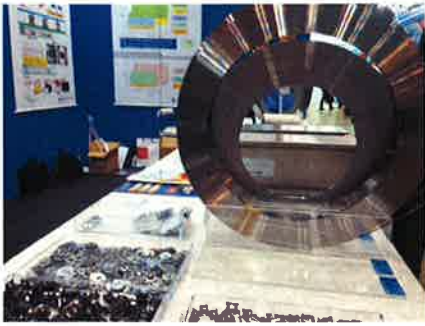
0

昨年が続いて第2回となる高機能金属展が8日から東京ビッグサイトで開催され、メタル素材から加工技術、リサイクル企業までが一同に会し、おおいににぎわっていた。リサイクル企業としては唯一の出展で昨年、今年と2年連続でブースを出しているメタルドゥは昨年よりもブースを広げ、リサイクルをわかりやすくエンタテインメント性あふれる作りで来場者を惹きつけていた。



レアメタルのリサイクルは量、質、価格、バリエーションが重要だとし、いかにメーカー企業と一体感をもって連携したリサイクルができるかを追求し、提案もしている。チタンスクラップの加工もその一貫。あくまでもユーザーニーズに沿ったレアメタルリサイクルを展開する同社ならではのサービスである。ブースには水銀の入った容器も置いて、わかりやすく水銀という金属の特性を示していた。

明道メタル、新日鉄住金は二相系ステンレスをイチオシ。特に明道メタルは新日鉄住金ステンレスの304薄板代替の2 1 2 0をメインにアピール。0.5mm以下の加工は明道メタルしかできない薄板加工技術があり、ブースでは0.1mmの2 1 2 0を展示していた。2 1 2 0は304の2倍の強度をもっているという。304に比して軽くて強い、ということから最近ではソーラーパネルの架台やボトル、ナットのねじ類への活用も進んでいるとのこと。



(IRUNIV YUJI TANAMACHI)